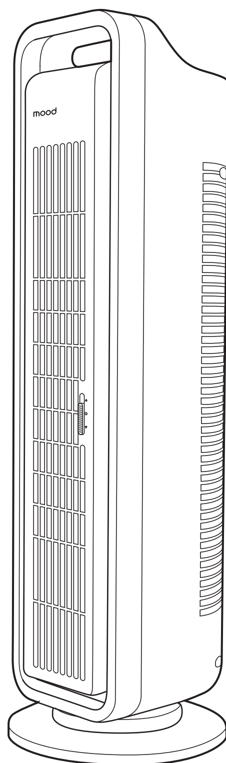
mood

タワー型セラミックヒーター MOD-CH1204

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

仕様

型　名	MOD-CH1204
電　源	AC100V　50/60Hz
消費電力 (50／60Hz)	強1200／1100W、弱600／550W
ヒーター	PTC ヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ）／温度ヒューズ／サーモスタット
電源コード長さ	約 1.8m
外形寸法	約 幅 200 ×奥行き 205 ×高さ 648mm
質　量	約3.1kg
付属品	フィルター× 1（本体に取り付け済）、取扱説明書・保証書 ×1

● 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

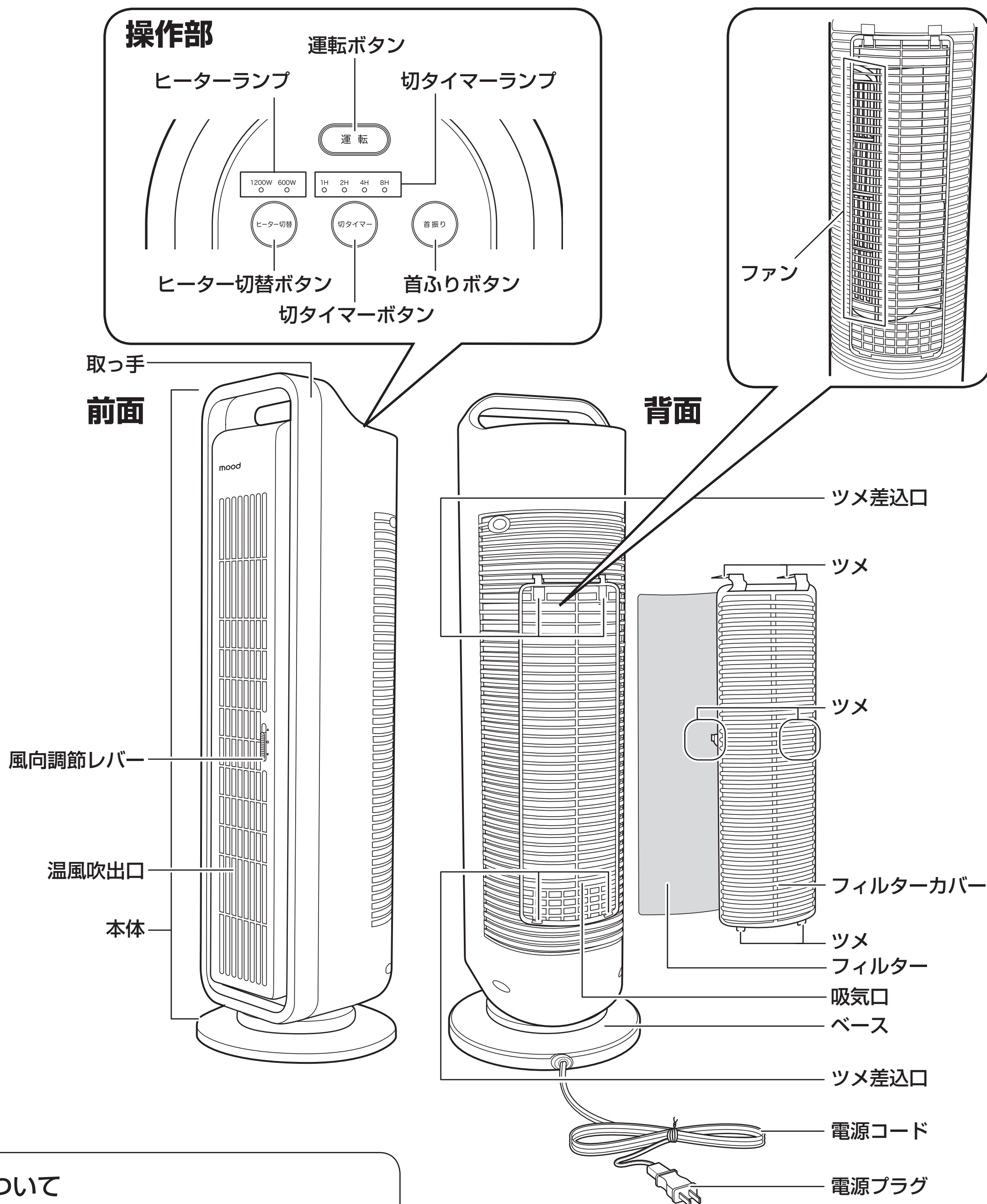
⚠警告

禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災･感電の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電･ショート･発火の原因になります。
禁止	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。** 火災・感電の原因になります。	指示	**定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。** 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。** 感電･ショート･発火の原因になります。	指示	**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート･火災の原因になります。
禁止	**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。** けが･やけど･感電の原因になります。	プラグを抜く	**使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災や故障の原因になります。
禁止	**本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。** 感電･けがの原因になります。	プラグを抜く	**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電･火災･けがの原因になることがあります。
禁止	**スプレー缶などを本体の近くに置かない。** 爆発や火災の原因になります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災･感電･けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。
禁止	**本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。** 過熱して火災、やけどの原因になることがあります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
禁止	**就寝中は使用しない。** 寝具などが触れて火災の原因になります。	水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート･感電の原因になります。
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災･感電の原因になります。		

⚠注意

禁止	**お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。** 火災ややけどの原因になることがあります。	禁止	**犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。** ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形･変色したり、火災の原因になることがあります。		**お手入れの際は住宅用洗剤･シンナー･ベンジン･アルコール･磨き粉などを使わない。** 変色･変形･感電･故障の原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。	指示	**電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。** 感電やショートの原因になることがあります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。		**運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。** フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になることがあります。	接触禁止	**使用中や使用後しばらくは、温風吹出口（高温部）に触れない。** やけどの原因になることがあります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき



安全装置について

- 使用中に転倒した場合は、転倒オフスイッチが働き電源を切ります。
- 温度が上昇しすぎると、サーモスタットが働き、自動的に運転を停止します。（温度が下がると運転を開始します。）
  さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。（温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。）

⚠注意	• 使用中は本体から離れない。 • 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。 • 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。

正しい使いかた

使用前の準備

	**運転する際は、フィルターを取り付ける。** フィルターを取り付けずに運転すると火災や故障の原因になることがあります。

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。
（右図）

※近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

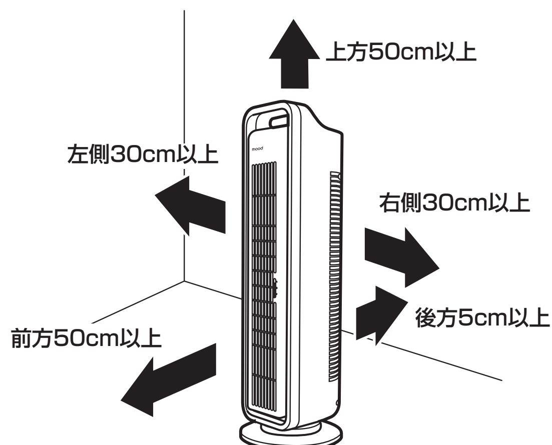
※本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ（安全装置）の音であり、異常ではありません。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

“ピッ”という音が出ます。

	• **定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使用する。** 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。 • **本体に衣類などをかけて使用しない。** 火災ややけど、本機の故障の原因になります。 • **電源コードを束ねたまま使用しない。** 電源コードの発熱、発火のおそれがあります。 • **外出等で本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。** 安全装置が働いて、ヒーターが停止していることがあります。温度が下がると自動的に運転を開始しますので、消し忘れや火災の原因になります。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。（火災の原因になります）



次のような場所では使用しないでください。

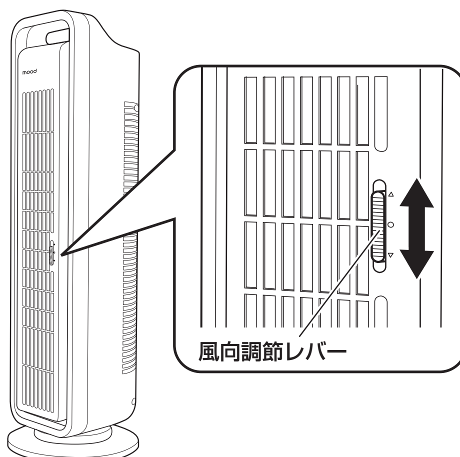
※毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所（本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。）

運転の開始／停止

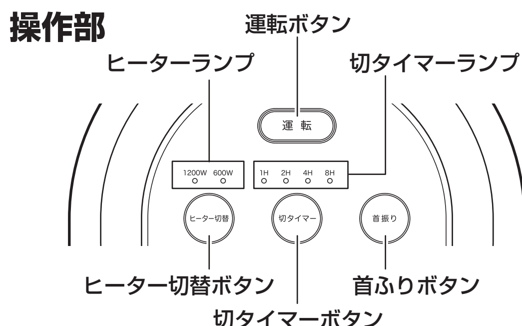
1. 風向きを調整する

温風吹出口の向きは、風向調節レバーで上下に調節することができます。

	**運転中、運転直後は風向きの調整を行わない。** やけどの原因になります。



正しい使いかた（つづき）

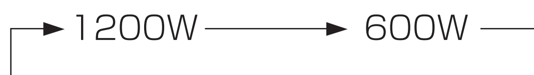


2. 運転ボタンを押して運転を開始する

運転を開始すると、ヒーターランプの 1200W が点灯します。

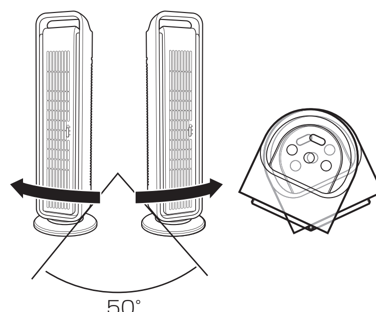
3. ヒーター切替ボタンを押し、[1200W] または [600W] を選ぶ

ヒーターランプが切り替わります。



4. 首ふり運転するときは、首ふりボタンを押す

首ふりボタンを押すと、本体が左右に 50°動きます。 首ふり中に首ふりボタンを押すと、首ふりを停止します。





首ふり運転するときは、温風の方向に十分注意する。
温風吹出口の方向が変化し、思わぬ事故の原因になります。

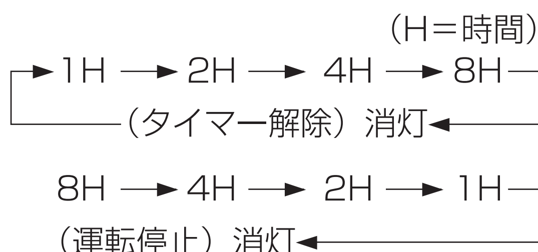
5. 切タイマーを設定するときは、切タイマーボタンを押して、切タイマーをセットする

切タイマーボタンを押すごとに、右図のように設定時間が切り替わります。

※ 切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに切タイマーランプが移り変わり、切タイマーが働くまでの時間を表示します。

※ 切タイマーを解除するには切タイマーボタンを何度か押して、タイマーランプが消灯するのを確認してください。

※ 切タイマー運転中でもヒーター切替ボタンや首ふりボタン、切タイマーボタンで運転設定の変更をすることができます。



6. 運転ボタン 運転 を押して運転を停止する

運転ボタン 運転 を押してから約１分間、ヒーターを冷やすため、ファンが回り続けます。

7. 電源コードを抜く

ファンが停止したことを確認し、電源コードを抜いてください。

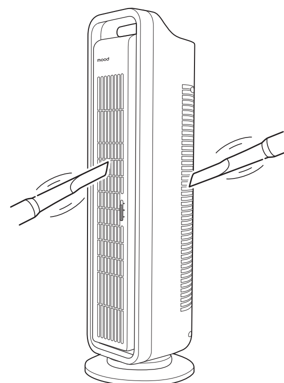
 警告	• **ファンが停止する前には電源コードを抜かない。** 故障の原因になります。 • **使用中、使用後しばらくは、温風吹出口など高温部にはさわらない。** やけどの原因になります。

お手入れと保存

 警告	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。** 感電やけが、やけどの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）



温風吹出口／吸気口のお手入れ

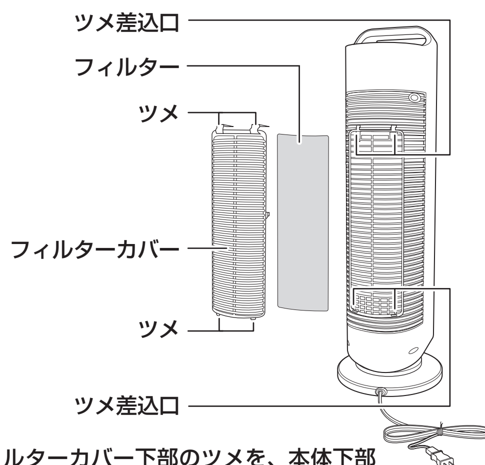
掃除機でホコリを吸い取ってください。

フィルターのお手入れ

下記の手順に従って行なってください。

① 本体からフィルターカバーを取りはずす。
② フィルターカバーからフィルターを取りはずす。
③ フィルターのゴミやホコリを手や掃除機でていねいに取り除く。
　※ フィルターの汚れがひどい時は、ていねいに水洗い(手洗い) をしてください。強くこすったり、ねじらないでください。破損の原因となることがあります。
④ フィルターカバーにフィルターを取り付ける。
　※ フィルターを水洗いした場合は、十分に乾燥させてから取り付けてください。
⑤ フィルターカバーを本体へ取り付ける。

※ お手入れのあとは、必ずフィルターとフィルターカバーを本体に取り付けてください。



※フィルターカバー下部のツメを、本体下部のツメ差込口に差し込み、フィルターカバーを本体にしっかり取り付けてください。

お手入れと保存（つづき）

フィルターの交換

フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※ フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【フィルター】

破れたり、汚れがひどくなったり、紛失した場合などは、フィルターを購入してください。

※ フィルターは水洗いできます。

商品名：フィルター（1 個）
PFT-FS2
メーカー希望小売価格￥525（税込）

お願い

※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。

※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。

※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

保存のしかた

※ お手入れの後、よく乾燥させてください。

※ ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない (運転開始しない)	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込んでください
	• 安定した水平な場所に置かれていない（転倒オフスイッチが働いている）	置き場所を確認してください (安定した水平な場所に置く)
	• 安全装置（温度ヒューズ）が働いている（4 ページ参照）	販売店またはドウシシャサービスセンター(裏表紙参照)にご連絡ください
運転ボタンを押して運転停止しても、ファンが回っている	• ヒーターを冷やすために運転停止にしてもファンが回ったままになります（7 ページ参照）	ファンが回っているのが 1 分程度なら問題ありません

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャサービスセンターに点検をご相談ください。